

# 予算の使いみち

まちでは、住み良いまちづくりのため、さまざまな事業を行っており、その目的等により、次の5つに区分することが出来ます。

- 1 子育て・教育
  - 2 医療・福祉
  - 3 産業・観光
  - 4 社会基盤・まちづくり
  - 5 その他の行政経費（1から4に区分されない経費）
- この5つの区分毎に主な事業を紹介します。

## 1 子育て・教育

子育て世代に対する各種支援事業や、学校教育・社会教育などに関する事業を実施しています。

令和8年度予算額193億4800万円のうち、子育て・教育の分野には、34億7249万円を計上しています。



### 3 白滝小学校大規模改修事業

2,109 万円

【教育部総務課】

財源の内訳  
町の負担 9万円  
借金 2,100万円



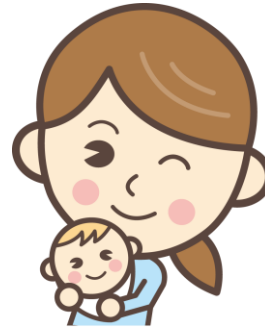
遠軽町学校施設長寿命化計画に基づき、白滝小学校の改修工事を行うため、実施設計を行います。なお、改修工事は令和9年度を予定しています。

### 1 ママ・スマイル事業 (物価高騰対応重点支援事業)

97 万円

【民生部保健福祉課】

財源の内訳  
国の負担 全額



遠軽町で出産されたことに祝福や慰労の思いを込め、100日のお祝い膳、おむつ等に使用する可燃用ごみ袋、キッズメトロ利用券を配布します。

### 4 丸瀬布保育所改修事業

1,953 万円

【民生部子育て支援課】

財源の内訳  
国の負担 1,950万円  
町の負担 3万円



建築後50年近くが経過し、施設全体の老朽化が進んでいる丸瀬布保育所の改修工事を行います。

### 2 子ども・子育て支援事業

4 億 4,234 万円

【民生部子育て支援課】

財源の内訳  
利用者の負担 51万円  
国の負担 2億 999万円  
道の負担 1億 975万円  
町の負担 1億 2,209万円



幼児期の学校教育・保育や地域の子ども・子育て支援を総合的に実施します。

また、私立認定こども園の教育・保育に係る標準的な費用の一部を負担しています。

## 8 えんがる球場大規模改修事業

4億5,153万円

【教育部社会教育課】

財源の内訳  
町の負担 3万円  
その他 1億1,000万円  
借金 3億4,150万円



遠軽町社会教育施設長寿命化計画に基づき、えんがる球場の大規模改修工事を、令和8年度から2か年で行います。

## 5 給食費食料品価格高騰対策事業(物価高騰対応重点支援事業)

1,250万円

【教育部学校給食センター】

財源の内訳  
国の負担 全額



小学生の給食費について、給食費の無償化に伴い、国が定める基準額を超える場合に生じる保護者負担分を、中学生の給食費については、物価高騰により増加する保護者負担分を国からの臨時交付金を活用して町が負担することで、保護者の負担を軽減します。

## 9 遠軽高等学校通学者等助成金

5,784万円

【総務部企画課】

財源の内訳  
町の負担 3,209万円  
借金 2,575万円



遠軽高等学校の生徒数を確保することを目的に、遠軽地区（遠軽町、湧別町、佐呂間町）以外から同校に通学する生徒の通学、下宿等に係る費用を助成します。

## 6 教育相談・不登校対策事業

678万円

【教育部総務課】

財源の内訳  
道の負担 36万円  
町の負担 642万円



学校生活や家庭生活での様々な教育相談や不登校児童生徒への対応を行うため、教育専門員を配置し、教育相談・不登校対応の充実を図ります。

## 10 遠軽高等学校学生寮運営事業

1,825万円

【総務部企画課】

財源の内訳  
利用者の負担 1,680万円  
町の負担 145万円



遠軽高等学校の生徒数を確保することを目的に、遠隔地のため自宅からの通学が困難な生徒の負担を軽減するため、遠軽高等学校学生寮『piece（ピース）』を運営します。

## 7 特別支援教育支援員配置事業

3,470万円

【教育部総務課】

財源の内訳  
町の負担 全額



特別支援教育の更なる充実を図ることを目的に、小・中学校で支援を必要とする児童生徒に対して、学校生活の介助や学習活動をサポートするため、特別支援教育支援員を配置します。